

質問	幕末の下関の豪商白石正一郎について、親がどんな人だったか、どんな子どもだったか分かる本を探している。
回答	白石正一郎については、おおむね中年以降の活躍期について書かれており、少年時代についての資料は少ない。家系を含めて生涯全体について詳しいのは、山口県立山口図書館所蔵の本で、 ・富成博『渦潮の底 白石正一郎とその一族』（右文書院） がある。ただし、この本にも子ども時代のことについての詳しい記述はない。 このほかに、県立図書館の所蔵の本で、 ・中原雅夫『幕末の豪商志士・白石正一郎』（三一書房） があり、家系のことにも少し触れているが、中年以降の活躍期を中心に書かれている。その他、当館所蔵の本では ・一坂太郎『奇兵隊列伝（一）』（萩ものがたり） ・古川薫『夜明けを切り開いた志士たち』（徳間文庫） などに白石正一郎の章があるが、これらも商人・志士としての活躍が目立ち始めた頃からあとの後半生を描いていて、若い頃の話は載っていない。 以上の結果から、お探しのものに最も近いのは、富成博・著『渦潮の底 白石正一郎とその一族』（右文書院）と思われる。
回答のプロセス	
資料	一坂太郎『奇兵隊士列伝（一）』（萩ものがたり）（Y 289イタ） 古川薫『夜明けを切り開いた志士たち』（徳間書店）（Y2807カ）
備考	その後、中央図書館で『渦潮の底』（Y 289ジシ）を所蔵した。